

11:30

書記

初めての協議会でありますので、年長議員の中村議員を御紹介申し上げます。

それでは、よろしくお願いいたします。

（開会）11:31

中村臨時座長

初めての協議会でありますので、年長のゆえをもちまして臨時に座長の職務を行います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

それでは、ただいまから協議会を開会します。

本日は、初めての協議会であります。自己紹介については、いかがいたしましょうか。

（「省略」との声）

それでは、直ちに座長の互選に入りたいと思いますが、御意見がございましたら、お願いします。

（「中村議員さんに」との声）

ただいま、私に座長をという御発言がありますが、よろしいでしょうか。

（「異議なし」との声）

御異議なしと認めます。

中村座長

就任に当たりまして、ごあいさつ申し上げます。

政策条例ということで、和歌山市議会において余りそういった経験はありませんが、各市町村で政策条例をつくっていくという動きが結構活発であります。住民と一番接している私たちが住民の意向を受けて当局に頼んでつくってもらうということもいいですが、ひとつ議会でもって発議をして条例をつくるという動きもやってみてはどうかということで、こういった会合をつくっていただきました。

ふつつかではございますが、年長のゆえをもちまして、これから進めさせていただきますので、皆さん方の積極的な御意見と御協力よろしくお願いいたします。

それでは、直ちに副座長の互選に入りたいと思いますが、御意見がございましたら、お願いします。

（「尾崎議員さんに」との声）

ただいま、尾崎議員さんに副座長をという御発言がありますが、尾崎議員さんに副座長をお願いすることに、御異議ございませんか。

（「異議なし」との声）

御異議なしと認めます。よって、尾崎議員さんに副座長をお願いしたいと思います。

尾崎議員さん、副座長席にお着き願います。（尾崎副座長、副座長席に着く）

それでは、副座長からごあいさつをお願いします。

尾崎副座長

ただいま御指名いただきました。この政策条例については、ただいま就任した中村座長が行政経験、やっぱり県の職員として、そして和歌山市で議員として培ってこられた経験のも

とで御提言をしてこられたことをございます。各議員個々にそういった思いもあったと思います。それを和歌山市の中にぶつけていける、市民も一緒になって参加できるようにしていただけるような政策条例というものをつくっていくということは、大変有意義に感じております。そういった意味では、中村座長をしっかりと支え、いい会にできればと思っております。力不足かもしれませんが、しっかりと頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

中村座長

次に、議員席につきましてはいかががいたしましょうか。

（「正副座長一任」との声）

それでは、そのようにさせていただきます。

次に、本日は初顔合わせということで議会最終日のお忙しい中お集まりいただきましたが、次の会議ではどういった条例をつくるのかということと、いつごろ提案するのかということの希望を掲げてそれまでのタイムスケジュールを考えていきたいと思っておりますがいかがでしょうか。

姫田議員

出るか出ないかは別にして、一応全員でつくっていくといった基本的なスタンスとするためには、こういった条例をつくってはどうかということを出してもらえれば出してもらいようなことをしたほうが良いと思います。会派でまとめてもいいし、会派によってもそれぞれ違うと思います。温度差もあるだろうし。だからこんなのをやってほしいという希望を最初に聞いてはどうかと思います。はっきりしたものでなくてもいいと思います。先日の勉強会のときに、例えば、朝ごはんを食べようみたいなのもあったと思いますし、だから、こういった部分でやるべきなのか、まず最初に経済的な部分を取り上げるべきなのか、それぞれだと思いますので、もし取れるのであれば、それを先に取って、要するに集まった議員だけでテーマを出し合うよりも前にもっと広く出し合ったほうが流れていくときに同意を得られると思いますので、そういったことをアンケートまでとはいかなくても、それはお任せしますが、そういったことをしたほうが流れていくと思います。

中村座長

今、貴重な御意見をいただきました。今回、1つ条例をつくりたいということですが、その1つ限りで終わるというのではなく、いろいろ皆さんはテーマをお持ちだと思いますので、それをある程度順番に出していくという、その端緒にしたいという気持ちもあります。そのためにも最初に皆さん方の賛同を得られるような条例を1つつくってみると。モデル的に1つつくって、それを実績にしてそれからいろいろなテーマでやっていくということも必要かと思っておりますので、次の会議までに皆さん方で、各会派でテーマを拾い上げていただいて、そして持ち寄っていただいてその中から最初にモデル的に皆さんが納得できるような条例をつくっていくと、こういうことで運んでいってはどうかと思っておりますが、どうですか。

芝本議員

その際に、各会派から、例えば、防災をやりますよと、別の会派から環境をしますと、また別の会派から福祉をしますといったときに、どうなるかわかりませんが、ひとつ提案ですが、幾つも出した中で多数決を取ったほうがいいのか、それとも、各会派で1つと考えたほうがよろしいのですか。

中村座長

その出してきたものを全部するというのではなくて、リストアップして、皆さんそれぞれ思いがありますのでそれを一度拾い上げて、皆さんの同意を得られるものをモデル的にやりましょうと。それで、次は次でその中からでもいいし、ほかから集めてもいいですけども、その中で2番目はこれをしましょうということで、その時期の社会情勢もありますし、出してくるものを絶対にすると。順番はどうするのかということは余り考えずに、まず1つだけ真っ先にこんなことをしましょうということで皆さんの同意を得たいと思います。

尾崎副座長

それは、どういった形で絞り込んでいくかということですか。

山本議員

とりあえず皆さんで意見を出して、出てきたテーマを10個ぐらい並べてみて、どれを早くしないといけないのかといった中身的なことで、全員で話し合いをしてこれだったら皆さんが一度に集中して乗っていけるというテーマがあれば、それをチョイスして、まず全員で始めてみて、産みの苦しみにこれをやってみましょうかということやっていけばいいと思います。

松本議員

あとは話し合いで、1つつくってみて、どれぐらいの労力が必要かわかってくるので、1つつくってみたときに、2つ3つとできるかもしれない。

島 議員

今回の協議会はやはり座長の言われたとおり、早く実績を上げることがまず第一だと私は思っております。だから、そのためにも皆さん方の案を出していただいて、いかに早く合意形成がとれて、早く条例を提案できる状況まで持っていくということが大事なので、やはり実績を上げて1つつくることで弾みもつきますし、次に対する取り組み方も見えてくると思いますので、できるだけスピーディーに合意形成ができ、なおかつ条例が完成して提案できるところまで持っていくということを第一に考えていただければおのずと決まってくると思います。

園内議員

次の会議で皆さんから案を出してもらってということですが、その案の出し方として、例えば、観光、経済、医療、福祉といろいろあると思います。各分野の案を出すというよりも、できれば観光であれば観光で、例えば、和歌浦を守る何とかいう条例であったり、経済であ

れば地場産業振興条例とか、そういった具体的な案を皆さんで持ち寄って、こんなのはどうですかというふうにやっていったほうが話は早いと思います。例えば、次の会議は分野で観光にしましょうかとか経済にしましょうかとか、福祉にしましょうかとかということであれば、またちょっとおくれるような気がしますので、会派で幾つ出すかは検討が必要ですが、具体的に和歌山市民の健康条例はどうですかといった話で持ち寄ったほうが話が早いと思いますがいかがでしょうか。

芝本議員

難しいのは、例えば、Sクラブというのが和歌山市にあったとして、そのSクラブの中でいろいろと意見を聞いたときに、別の会派のテーマに決まったときに、なぜそっちのほうが優先順位が高いのかということが往々にしてあると思うんです。ですから、姫田議員が言われるように、いろいろな意見を聞くのはいいのですが、会派というよりももっと個人個人の感覚でそういったことの提案——今、園内議員が言われたように、今度こうしたことをしていけばどうかという具体的なレベルのほうが最終的に決めやすい——先ほど副座長が言われたように、多数決で決めますといったことを決めておかないと、また会派に持って帰ってどうのこうのとなっては時間の無駄なので、会派で出し合って、1つの会派のテーマを決めるのではなくて、一個人の意見を聞いて持ってきた中で多数決で決めますというぐらいで緩やかに決めていただいたほうが進んでいきやすいと思います。

吉本議員

個人で考えている条例があって、それは観光なのか福祉なのかいろいろ分野別に分けて出してもらって、各議員に出してもらって、それを分野別に分けて、これとこれは同じような条例だなということで、それで一つにまとまると。先に全部出してもらって自分でそこに参加しているという感覚がでてくると思います。

園内議員

先ほど芝本議員が言われた、結局、個人の意見として、会派の意見はこうですというのではなく、ここにいらっしゃる各議員の個人の意見として持ち寄るといほうがしやすいのではないかと思います。

中村座長

要は、会派で話し合って提案をもらってここに来られる方もあるだろうし、個人的な意見を何人かで相談して持って来られる方もいるし、それは自由にして、ここへ出てきたものについてどれからやりましょうかということを決めて——その決めるのも、この協議会に任されていると思いますので、それでやっていきませんか。

吉本議員

一つだけいいですか。これは間違っているかもしれませんが、非公式の会議ということですが、例えば、市議会でこういった協議会が立ち上がって、こういった議論をされていますといったことをマスコミに伝えることはだめですか。というのは、議会は何をやっているの

かわからないといった市民の意見もあるし、こういった形で政策条例をこういった形で進めていってという経過というのをと思っていますが。

松本議員

これは議運で一度言ってくれて、記者も入っていますけれども。

中村座長

姫田議員にも言われましたが、ある程度まとまってきたら、やっぱり全員協議会等に持って行って、我々で説明をして、いろいろな意見を聞く場をつくらないといけないと思います。それは公開になると思います。

姫田議員

一番心配するのは、こういうふうな方向で条例を考えているといった場合、必ず賛否は出てきますので、まとまる前に遠慮してといったことがありますので、そののところもうちょっとまとまった形で。最初、幹事長会では特別委員会をつくったらどうかという意見もありましたが、方向も定まっていらないのに委員会をつくって、どちらの方向に進むのかと言われてたときにそれはこれから決めるということになったらだめなので、とりあえず非公式のこういった協議会をつくって、そこでもうちょっと練って、一定の方向がまとまったり、いただいた意見に対して意思統一ができた部分について全員協議会にかけて、そうすれば全員が出席しますのでそこで自由に議論していただいて、それはオープンですから、まとまったものを出さないと方向性がわからないところからこんな話をしているということが伝わっていったら、それは要するに、一つ一つについてここの総意でこうなったというところにとどめておかなければ。

尾崎副座長

吉本議員が言っているのは、議員の中で協議会が立ち上がって、今、勉強していますというアナウンスメントをしてもいいかどうかということです。

吉本議員

市民に対して議会としてこういったことをしているといったことを公表すると。

姫田議員

中身についてまでいけば行き過ぎではないかと思います。

中村座長

テーマを皆さんに考えてきてもらうということと、それから今後のスケジュールについては、正副座長に任せていただいて、原案を次の会議に持ってきますので、その2つを次に決めたいと思います。できるだけ精力的にやりたいので、7月の第2週目に協議会を開きたいと思いますが、皆さん、いかがでしょうか。

（次回、開催日の協議）

それでは、次回の協議会は7月12日（木）午後1時から開催ということによろしいでしょうか。

（「はい」との声）

当協議会の名称については、和歌山市議会政策条例策定協議会となっておりますので、よろしくをお願いします。

芝本議員

次々回の開催日も決めておいたほうが良いと思いますが、どうですか。

山本議員

2週に1度ぐらいを考えておいたほうが良いのではないかと思います。

島 議員

7月の第4週目ぐらいで皆さんの御都合を聞いてはどうですか。

中村座長

7月の第4週目で御都合の悪い日はありますか。

（次々回開催日の確認）

それでは、次回の開会の際に次々回の開催日を決めたいと思います。

姫田議員

全員がそろって——もっと前に決めておくと、もっと先のことを。

芝本議員

第1、第3の月曜日の午前中にやりますよということを決めてもらったら合わせやすいと思います。

姫田議員

そういったことを決めておかないと、難しいと思います。

尾崎副座長

1回2回は立ち上げなので、全員がそろったほうが。

中村座長

1回、2回、出席できないと熱意が下がってくると思います。だからできるだけ出席していただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

それでは、次回は7月12日（木）午後1時からということによろしくをお願いします。

（終了） 12：06